

H：発達や学びをつなぐ幼・保・小連携

～就学を境にした時期の教育について幼稚園教諭と語り合おう～

研修のねらい

幼稚園や保育所で生活していた子どもが小学校に入学すると、様々な違いに出会います。その違いは、子どもにとって小学校へのあこがれや成長の証である一方、これまでの経験では対応できない「段差」となり、生活面や学習面でうまく適応できないことがあります。しかし、子どもの発達は途切れることなく連続しています。そこで、幼児期の教育と小学校教育の共通点や相違点を探り、子どもの発達や学びをつなぐための指導の在り方について考えます。

幼・小の連携は、小・中の連携と同様の成果や課題があります。中学校の先生方にも参考になりますので、ぜひ参加してください。

研修の内容

幼稚園教諭10年経験者研修と合同で実施し、幼稚園教諭との協議を通して、幼児期の教育と小学校教育についての相互理解を深めます。

文字の習得や基本的な生活習慣の確立、コミュニケーション力の育成等の課題について、保護者からの質問に対する回答を幼稚園教諭と一緒に考えます。就学を境にした時期に大切にしたい子どもの姿や指導の在り方を協議する中で、“保護者もつなぐ幼・保・小連携”について、共通理解していきます。

- 1 講話 「幼・保・小の連携～幼児期から児童期への教育～」
・就学を境にした子どもの状況と連携の必要性について

2 演習・研究協議

幼児期の教育と小学校教育の双方で、就学を境にした時期の指導の在り方について考えます。

- (1) 就学を境にした時期の3つの課題について、幼稚園・小学校それぞれの現状や取組等を話し合う。
- (2) 就学を境にした時期の3つの課題について、改善策や提案等を話し合い、まとめる。
- (3) グループ毎に発表する。

- 3 2の協議を通して明確になったことを、子どもの発達や学びをつなぐための指導の在り方として共通理解します。

当日の持参品、課題等

・事前課題等【様式H】

事前アンケート【様式H】を記入し、9月30日（月）までにFAXにて送信する。

・持参品

小学校学習指導要領解説 生活編 平成20年8月 文部科学省

小学校第1学年の国語・算数の教科書（協議の際の参考になります。）

自校のスタートカリキュラム（第1学年入学当初の計画等です。ない場合は結構です。）

※事前課題等は【様式H】に従って記入し、FAXにて送付すること。事前課題の持参部数及び様式については、7月26日よりWeb発信します。